

市議会だより

第174号
平成24年
11月20日

■発行 / 鈴鹿市議会 ■編集 / 鈴鹿市議会広報広聴委員会

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL.059-382-7600 <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai>



市制70周年記念議会事業 議会報告会(10月20日 市役所本館12階会議室にて)

9月定例会のあらまし

9月定例会は、8月29日から9月28日までの31日間の日程で開催されました。本定例会では、開会日に「平成24年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)」や「平成23年度鈴鹿市一般会計決算の認定について」など議案21件が市長から提出されました。議案質疑、各委員会での審査の後、閉会日には「鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について」と「鈴鹿市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について」の2件の追加議案が提出され、討論及び採決が行われました。また、「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書」など4件の請願書が提出され、議案と同様に常任委員会での審査を経て、閉会日に採決が行われました。この請願の趣旨を受け、議員提案により「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書」など4件の意見書案が提出され、同じく閉会日に採決が行われました。さらに、地方自治法の一部が改正されたことに伴い、議会運営委員会からの提案による「鈴鹿市議会会議規則の一部改正について」が閉会日に提出され採決が行われました。

(議決一覧については5ページに記載)

主な内容

議会報告会	2P
常任委員会審査状況	3~5P
9月定例会議決一覧	5P
議会の動き	7P
11・12月の会議日程	7P
9月定例会一般質問	8P~14P
行政視察報告	15P

議員からの寄付は禁止されています

議員(候補者を含む)が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に、寄付や差し入れなどをしたり、祝い金(出産・新築等)や贈り物をする場合は、公職選挙法等により罰則をもって禁止されています。また、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

市制70周年記念議会事業 ～議会報告会～を開催しました

平成24年10月20日(土)、市役所12階大会議室において、市制70周年記念議会事業～議会報告会～を開催しました。

多くの市民のみなさまのご来場ありがとうございました。

本年は市制施行70周年の記念すべき年にあたりますので、市制施行70周年議会事業として、「議会報告会」を開催しました。

鈴鹿市議会としては初めての取り組みとなるこの議会報告会は、第1部で12月1日に施行される鈴鹿市議会基本条例の説明、第2部では先の9月定例会の審議状況を報告し、会場をほぼ埋めつくした市民のみなさまからは多くの質問やご意見をいただきました。

特に第1部の議会基本条例の報告では、第3条(議員の活動原則)、第5条(会議の公開)、第11条(議員定数)、第18条(議会広報広聴の充実)等の内容についての質問やご意見があり、議会としては、市民のみなさまからのご意見をうかがいながら、今後の議会のあり方や取り組みについて、十分協議しながら進めて行きたいと回答をしました。

(※当日いただいたご意見等につきましては、後日、市議会ホームページでご紹介します。)

このほか休憩時間には議場の見学も実施しました。

なお、事業のプログラムは次のとおりでした。



市役所12階 大会議室

市制70周年記念議会事業～議会報告会～

- ・開会あいさつ 鈴鹿市議会議長 矢野仁志
- ・来賓あいさつ 鈴鹿市長 末松則子

- ・報告会第1部 (進行:藪田啓介 事業幹事長)
「議会基本条例について」 説明と質疑応答

説明者 原田勝二 議員・森田英治 議員

質疑応答 泊り育美議員・藤浪清司議員・宮木 健議員・南条雄士議員
森川ヤスエ議員(前 議会改革特別委員会委員)

- ・報告会第2部 (進行:藤浪清司 事業副幹事長) 「9月議会の概要」報告と質疑応答

報告者と 矢野仁志 議長

質疑応答 青木啓文 議会運営委員長・中村 浩 予算決算委員長
今井俊郎 総務委員長・宮木 健 総務副委員長
野間芳実 文教環境委員長・森 雅之 文教環境副委員長
藪田啓介 生活福祉委員長・鈴木 純 生活福祉副委員長
中西大輔 産業建設委員長・泊り育美 産業建設副委員長

- ・閉会あいさつ 鈴鹿市議会副議長 水谷 進



常任委員会審査状況

9月定例会に上程された議案を各委員会に付託して審査を行いました。9月13日と25日に予算決算委員会、18日と20日に産業建設委員会と分科会、18日に文教環境委員会と分科会、19日に総務・生活福祉委員会と各分科会をそれぞれ開催しました。各委員会及び分科会の審査状況は以下のとおりです。

総務委員会(総務分科会)

議案第56号ほか6件の議案を審査した。議案第56号平成24年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)では、鈴峰分団が全国消防操法大会に三重県代表として出場する際の旅費の内訳について、自主防災組織が購入する機材の内容を尋ねる質疑等があり、採決の結果、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第59号鈴鹿市防災会議条例の一部改正についてと、議案第60号鈴鹿市災害対策本部条例の一部改正については、防災会議の定数を40人以内とする理由や、女性の比率を上げるための方法を考えているのか尋ねる質疑等があり、採決の結果、議案第59号は全会一致で、議案第60号は賛成多数で原案可決すべきものと決定した。議案第61号鈴鹿市火災予防条例の一部改正については、条例のなかに自動車を使用する急速充電設備の項目を追加するものだが、自動車以外の急速充電設備も対象となるのか、家庭用の急速充電設備も対象となるのか尋ねる質疑等があり、採決の結果、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第62号訴えの提起については、非常用発電設備の改修費用を業者に対して損害賠償請求するものであるが、相手方が改修費用の支払いを拒否した理由、瑕疵担保責任の期間を認識していなかったのか、定期点検の頻度と内容、市が改修費を支払った理由、相手方に入札資格停止等のペナルティを与えるべきではないか、発電機を実際に稼働してテストするべきではないかとの質疑や、二度とこのような事態を起こさないように注意してほしいとの意見があり、採決の結果、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第66号平成23年度鈴鹿市一般会計決算の認定については、消防本部所管分に関して、耐震性貯水槽6基をどこに設置するのか、消防車両等の車検の現状、新消防庁舎のランニングコスト等を尋ねる質疑があった。防災危機管理課所管分に関して、緊急避難所指定集会所の耐震補強を行った件数や、これから行う予定箇所、補助金の上限額等を尋ねる質疑があった。企画財務部所管分に関して、滞納を減らし収納率を上げるための取り組み、コミュニティFM広報費とテレビ広報費の費用対効果等を尋ねる質疑があった。総務部所管分に関して、職員研修の内容と成果等を尋ねる質疑があった。採決の結果、全会一致で認定すべきものと決定した。議案第68号平成23年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定については、全会一致で認定すべきものと決定した。

文教環境委員会(文教環境分科会)

議案第56号ほか2件の議案及び請願4件を審査した。議案第56号は、スポーツ施設の定期的な点検や修繕のマニュアル作りができているのか、市立体育館のく体調査について大幅な予算減額の理由、柔道場のたたみの入れ替え枚数、現在事業中の不燃物リサイクルセンターの2期事業区域内の土地3299㎡を購入後、残りの必要な土地はどれくらいあるのか、栄養教諭を中核とした食育推進事業費の内容について、キャリア教育実践で指定を受けている明生小学校と平田野中学校での実践内容等を尋ねる質疑があり、討論では、スポーツ施設は危険を伴うのを認識した上で、施設を建てた時は次回改修計画等が作られるシステムを構築してほしいとの意見があった。採決の結果、全会一致で原案可決した。議案第63号は、調停書のひな型はあるのか、経緯が分かる内容も書けるのかと質疑があり、採決の結果、全会一致で原案可決した。議案第66号は、市立図書館の維持修繕は全て終わっているのか、23年度中に図書館運営委員会は開催されているのかとその内容、指定管理費は人件費だけに使われているのかについて、学芸員はほかの嘱託と賃金体系が違うのか、放課後こども教室事業費の内訳、鼓ヶ浦サン・スポーツランドの維持修繕費の内容、再商品化合理化拠出金等の内容、鈴が谷運動広場の維持管理費内訳と利用状況、不法投棄対策費の内容、施設跡地管理費の内容、旧廃棄物最終処理場の農業基盤整備の内容、私学振興費補助で三重朝鮮学園やイーエーエス伯人学校に補助があるが市内から何人通っているのか、補助はしなくてはいけないのか、学校支援チーム事業費について保護者からの理不尽な要望は何件くらいあり、その内容について、し尿収集業務は何校で行われ、浄化槽や下水に替える予定はあるのか、食育推進事業費の内容、武道必修化研究事業費は中学校10校全校に対しての決算なのか、小学校において自校方式の給食調理員・用務員それぞれの一人当たりの人件費や勤務時間について等質疑があり、討論では、学校給食センター施設整備費として予算計上時にも反対したので反対したいとの意見や、初めて市が教育の一環としてしようと方向性を出したことは評価したい等の意見があった。採決の結果、賛成多数で認定した。請願第3号は市の一般財源からの教材費はどれくらいあるのか等、請願第4号は30人学級を実現するにあたり教室が足りなくなったらどうするのか等、請願第6号は施設内のトイレ改修等は進んでいるのか等質疑があり、請願第3号から請願第6号全て賛成多数により採択すべきと決定した。

生活福祉分科会

議案第56号ほか8件の議案を審査した。議案第56号は、防犯灯設置費補助でLED

防犯灯に取り換える申請が増えた場合に予算が足りるか、市全体における防犯灯の設置数とその中にLED防犯灯がどれだけ占めるかを尋ねる質疑等があった。議案第57号は別段質疑なし。議案第66号は、市営自転車有料駐車場の箇所数と稼働率、男女共同参画センターでの相談件数と主な相談内容の傾向、児童福祉費負担金の収入未済額に関して、不納欠損の基準と収入未済額に対しての取り組みについて、応急診療所の職員は専従かどうかや今後の運営方針、民生委員児童委員等補助に関して、何人分で1人当たりの単価はいくらか、ホームレス支援事業費に関して、何人分に支出したものの、状況把握の方法、不妊治療助成費に関して、申込数と助成件数、社会福祉総務費での時間外勤務手当が増加している要因と分析をしているのか、生活支援事業委託に関して、この事業を増やすことの可否、災害時要援護者対策促進事業費と地域支え合い体制づくり事業費の内容、老人福祉費の不用額の内訳、介護予防事業の不用額が多額である原因と3月に減額補正をしても不用額が発生した原因、計画自体に問題があったのかについて、児童虐待・DV対策等総合支援事業費に関して、内容内訳、相談員数について、子ども医療費に関して、小・中学生別の件数と入院・通院別の金額、住まい対策緊急特別措置事業費及び扶助費における生活扶助費と医療扶助費に関して、減額の理由、乳児家庭全戸訪問事業報償費に関して、事業実施によりわかったこと、課題、気が付いたこと等の成果、健康増進事業費における訪問指導費の内容、歯周病検診費の内容や検診の対象者について、予防接種費に関して、内訳と件数、子宮頸がん予防接種の接種率についての見解等を尋ねる質疑があった。議案第67号は、収入未済額への対策、資格証の人数と推移について、特定健康診査等事業費の不用額が多い理由、特定検診の受診率によるペナルティはないのかについてを尋ねる質疑等があった。議案第69号は、貸付事業費貸付事業収入の不納欠損額を尋ねる質疑があり、議案第70号は、公債費貸付事業収入の収入未済額に関して、該当者数と時効について、不納欠損処理する期限はあるのかを尋ねる質疑があった。議案第71号は、別段質疑なし。議案第74号は、一般管理費の給料と時間外勤務手当は何名分のものかを尋ねる質疑があり、議案第75号は、対象者数と収入未済額の人数と回収方法、時効の有無、不納欠損はどこで出てきているのかを尋ねる質疑等があったが、採決の結果、全ての議案について全会一致で原案可決及び認定すべきものと決定した。

産業建設委員会(産業建設分科会)

議案第56号のほか7件の議案を審査した。議案第56号平成

24年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)では、戸別所得補償経営安定推進事業費及び新規就農総合支援事業費の内容についてや、御幣林道の陥没状況について、公用車として導入するEV車両の利用方法等について、市営住宅東玉垣団地廃止後の跡地の再生についてを尋ねる質疑等があり、採決の結果、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第58号平成24年度鈴鹿市下水道事業会計補正予算(第1号)では、補正額の積算根拠を尋ねる質疑等があり、採決の結果、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第64号市道の廃止について及び議案第65号市道の認定については、市道の廃止及び認定の理由を尋ねる質疑があり、採決の結果、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第66号平成23年度鈴鹿市一般会計決算の認定については、産業振興部所管分に関して、C-BUS運行事業費における南部地域の経営改善の取り組みとその効果についてや、工場設置奨励金に関し、対象企業の雇用状況について、土木部所管分に関して、新名神スマートインター整備関連事業費の詳細について、都市整備部所管分に関して、建築確認申請等手数料について、検査等を民間の機関にまかせることはできないかについて、防災公園整備費用負担金に関し、平成23年度の整備内容及び事業費についてを尋ねる質疑等があり、採決の結果、全会一致で認定すべきものと決定した。議案第72号平成23年度鈴鹿市下水道事業特別会計決算の認定については、建設改良費について、工事差金の扱い及び事業の進捗状況を尋ねる質疑等があり、採決の結果、全会一致で認定すべきものと決定した。議案第73号平成23年度鈴鹿市農業集落排水事業特別会計決算の認定については、農業集落排水処理施設使用料に関し、収入未済額の取組状況について、農業集落排水処理施設更新計画策定業務委託に関して、委託の内容を尋ねる質疑等があり、採決の結果、全会一致で認定すべきものと決定した。議案第76号平成23年度鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定については、剰余金の処分の内容や、決算に関し、専用水道に切り替える事業者の今後の見通し、純利益の経年の推移、給水原価を下げることは困難かについて、外部水源の受水費の削減、技術職員の人員配置、管路の耐震化率を尋ねる質疑等があり、採決の結果、全会一致で原案可決及び認定すべきものと決定した。

予算決算委員会

9月13日の本会議にて議案第56号から議案第58号の3議案と、議案第66号から議案第76号の11議案、合わせて14件の議案が付託された。付託同日、本委員会を開き、総務・文教環境・生活福祉・産業建設の4つの分科会を設置し、付託議案を各分科会に分担送付して審査することと決定した。

9月25日に再び本委員会を開き、各分科会委員長から詳しい審査報告を受けた後に採決を行い、議案第56号から議案第58号は全会一致で、議案第66号は賛成多数で、議案第67号から議案第76号は全会一致で原案のとおり可決及び認定すべきものと決定した。

議決一覧表(9月定例会)

議案番号	件名	議決内容	
議案第56号	平成24年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議案第57号	平成24年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議案第58号	平成24年度鈴鹿市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議案第59号	鈴鹿市防災会議条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第60号	鈴鹿市災害対策本部条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第61号	鈴鹿市火災予防条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第62号	訴えの提起について	原案可決	全会一致
議案第63号	調停の成立について	原案可決	全会一致
議案第64号	市道の廃止について	原案可決	全会一致
議案第65号	市道の認定について	原案可決	全会一致
議案第66号	平成23年度鈴鹿市一般会計決算の認定について	認定	賛成多数
議案第67号	平成23年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第68号	平成23年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第69号	平成23年度鈴鹿市福祉資金貸付事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第70号	平成23年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第71号	平成23年度鈴鹿市老人保健特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第72号	平成23年度鈴鹿市下水道事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第73号	平成23年度鈴鹿市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第74号	平成23年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第75号	平成23年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第76号	平成23年度鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決認定	全会一致
議案第77号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について	原案可決	全会一致
議案第78号	鈴鹿市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案可決	全会一致
委員会発議案第3号	鈴鹿市議会会議規則の一部改正について	原案可決	全会一致
議員発議案第3号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書	原案可決	賛成多数
議員発議案第4号	「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める意見書	原案可決	賛成多数
議員発議案第5号	就学・修学支援に関わる制度の拡充による保護者負担の軽減を求める意見書	原案可決	賛成多数
議員発議案第6号	防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める意見書	原案可決	賛成多数
請願番号	件名	議決内容	
請願第3号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書	採択	賛成多数
請願第4号	「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める請願書	採択	賛成多数
請願第5号	就学・修学支援に関わる制度の拡充による保護者負担の軽減を求める請願書	採択	賛成多数
請願第6号	防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める請願書	採択	賛成多数

防災安全特別委員会調査状況

5月16日の臨時会において、「防災安全に関して、総合的な取り組みや対策等について調査研究する」ことを目的に10名の委員をもって防災安全特別委員会が設置されました。

8月9日に第1回目の委員会を開催し、今年度1年間を通して調査研究するテーマについて協議しました。

9月26日に第2回目の委員会を開催し、今年の1月10日に議会から市長に提出した「防災安全に関する提言書」の進捗状況について、執行部から説明を受けた後に、質疑応答を行ったが、特に、「防災行政無線について」「災害復興計画について」「津波避難対策について」の3項目を中心に議論を行いました。

11月5日に宮城県仙台市の「震災復興計画について」を、11月6日に宮城県石巻市の「東日本大震災における被害状況と現状について」を視察しました。



常任委員会の所管と役割

平成24年4月1日に鈴鹿市行政組織条例が改正され、市の組織が再編されることに伴い、鈴鹿市議会委員会条例の改正を行いました。

この改正では、それまで、総務・文教福祉・生活産業・建設水道・予算決算となっていた常任委員会を、総務・文教環境・生活福祉・産業建設・予算決算に変更しました。

各委員会の所管と主な内容は次のとおりです。

名 称	定 数	所 管	主な内容
総務委員会	8名	防災危機管理課・企画財務部・総務部・会計課・消防本部・選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項	災害対策・市の基本計画・財政・広報・税金・人事・契約・庁舎管理・消防・選挙・監査等に関する議案を審査
文教環境委員会	8名	教育委員会、文化振興部及び環境部の所管に属する事項	学校・幼稚園・文化・スポーツ・環境・ごみ等に関する議案を審査
生活福祉委員会	8名	生活安全部及び保健福祉部の所管に属する事項	地域・男女共同参画・人権・福祉・保育所（園）・国民年金・国民健康保険・健康づくり等に関する議案を審査
産業建設委員会	8名	産業振興部、土木部、都市整備部、水道局及び農業委員会の所管に属する事項	産業・商業・観光・農林水産・道路・河川・公園・市営住宅・上下水道・農業委員会等に関する議案を審査
予算決算委員会	29名	予算及び決算に関する事項	市の予算及び決算に関する議案を審査

■ 常任委員会

議案等は最終的には本会議で決められますが、会議で審議する内容は広範囲多岐にわたり、しかも行政が専門化、技術化し複雑なことから、本会議で詳しく審議することには無理があります。そのため、専門的、効率的に審査するための少人数の議員で構成する常任委員会が設けられています。

常任委員会の活動は、議会が開会されているときに行われることが原則ですが、閉会中においても必要に応じて委員会を開き活動することがあります。

また、その活動は、議案等の審査だけにとどまらず、それぞれの委員会に所管する事項を調査研究し、調査した結果をまとめ、市長に対して議会からの提言等を行っています。

議会の動き(議長・副議長の公務等)

略称/各種議会名 各派/各派代表者会議 政調/政務調査費経理責任者会議
議運/議会運営委員会 全協/全員協議会 広報/議会広報広聴委員会

7月

- 1日 椿・小岐須溪谷山開き式(議長)
社会を明るくする運動啓発式典(議長)
- 2日 本会議、全協、政調、広報
- 3日 鈴鹿亀山地区広域連合議会臨時会(関係議員)
リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会 平成24年度建設促進大会(議長)
- 6日 鈴鹿の海開き式(議長・関係議員)
鈴鹿市交通安全都市推進協議会常任委員会・総会(議長・生活福祉委員長)
- 9日 鈴鹿市健康づくり推進協議会(議長)
鈴鹿川改修促進期成同盟会総会(副議長)
- 10日 各派
- 11日 第41回消防救助技術東海地区指導会開会式(議長)
- 12日 鈴鹿中央線延伸バイパス道路整備促進期成同盟会総会(議長・産業建設委員長)
北勢5市議会懇談会・意見交換会(正副議長)
- 13日 第33回鈴鹿中央総合病院運営協議会・情報交換会(副議長・議会運営委員長・生活福祉委員長)
- 14日 平成24年度鈴鹿市老人クラブ連合会50周年記念大会(議長・議員)
- 15日 社団法人鈴鹿青年会議所創立45周年記念式典及び祝賀会(議長)
- 16日 ふれあいニューススポーツフェスティバル(正副議長・議員)
- 17日 全協、総務委員会、生活福祉委員会
- 19日 全国市議会議長会第144回産業経済委員会(議長)
- 20日 一般国道1号線バイパス建設促進期成同盟会・鈴鹿亀山道路建設促進期成同盟会 平成24年度合同総会(議長)
- 21日 平成24年度三重県消防操法大会(副議長)
- 23日 鈴鹿回生病院医療機器内覧会(議長)
- 23日～25日 総務委員会行政視察(神奈川県川崎市、相模原市、東京都府中市)
- 25日 産業建設委員会
中勢バイパス建設促進期成同盟会定期総会・事業報告会(議長)
- 25日～27日 生活福祉委員会行政視察(岡山県倉敷市、広島県三原市、大阪府寝屋川市)
- 30日～ 文教環境委員会行政視察(京都府綾部市、大阪府大阪市、8月1日 兵庫県淡路市)

8月

- 2日 中ノ川改修工事促進期成同盟会総会(議長・産業建設委員長)
- 3日 堀切川改修促進期成同盟会総会(議長・産業建設委員長)

- 6日 文教環境委員会、総務委員会
- 8日 生活福祉委員会、産業建設委員会
伊藤智也氏パラリンピック出場壮行会(議長)
- 9日 防災安全特別委員会
第13回あかりフェスタ(議長)
- 10日 各派
北勢5市議会合同研修会・情報交換会(正副議長・議員)
- 11日 商工会議所青年部設立35周年記念式典・記念祝賀会(副議長)
- 17日 全協
椋川改修促進期成同盟会総会(議長)
- 18日 戦争遺跡保存全国シンポジウム(議長)
- 21日 鈴鹿回生病院運営委員会・懇親会(正副議長)
- 22日 議運
- 29日 本会議
- 30日 議運

9月

- 2日 平成24年度三重県・鈴鹿市総合防災訓練(正副議長・議員)
- 5日 平成24年度三重県商工会議所女性会連合会総会(議長)
- 7日 本会議
- 10日 本会議
- 11日 本会議
- 12日 本会議、議運、各派
- 13日 本会議、予算決算委員会
- 15日 鈴鹿バルーンフェスティバルウェルカムパーティー(議長・産業建設委員長)
- 16日 彫型画展表彰式(議長)
- 18日 文教環境委員会・予算決算委員会分科会
産業建設委員会・予算決算委員会分科会
- 19日 総務委員会・予算決算委員会分科会
生活福祉委員会・予算決算委員会分科会
- 20日 産業建設委員会・予算決算委員会分科会
- 25日 予算決算委員会、各派
- 26日 防災安全特別委員会
財団法人鈴鹿市文化振興事業団 平成24年度第2回理事會(副議長)
- 27日 議運、各派
- 28日 本会議、政調、広報

11・12月の会議日程

※日程は変更される場合があります。

11月	26日	(月)	10:00	本会議(開会)
	27日	(火)	14:00	議会運営委員会
12月	5日	(水)	10:00	本会議(質疑)
	6日～11日	(木～火)	10:00	本会議(一般質問)(8・9日休会)
	10日	(月)		議会運営委員会(本会議終了後)・各派代表者会議(議会運営委員会終了後)
	11日	(火)		予算決算委員会(本会議終了後)
	13日	(木)	10:00	文教環境委員会(分科会)・産業建設委員会(分科会)
	14日	(金)	10:00	総務委員会(分科会)・生活福祉委員会(分科会)
	18日	(火)	10:00	予算決算委員会
	20日	(木)	10:00	議会運営委員会・各派代表者会議(議会運営委員会終了後)
	21日	(金)	10:00	本会議(閉会)・全員協議会(本会議終了後)



あくていぶ21 青木 啓文 議員

1 鈴鹿のまちづくりについて

質問1(1) 地域づくりの組織について、組織の構成メンバー、活動拠点、資金はどのように考えているか。

答弁1(1) 地域づくりの組織として地域づくり協議会の設立を推進しており、自治会等を中心に構成され、公民館が主な活動拠点となっている。資金は協議会設立後に毎年度30万円を限度に補助金を交付。

質問1(2) これまでの公の施設における指定管理者制度の取組経緯と、今後の考え方は。

答弁1(2) 現在39施設において指定管理者による公の施設の管理運営が行われており、制度導入以前と比

べてサービス向上が図られている。今後も民間活力導入手法の一つとして、積極的に活用したい。

質問1(3) 鈴鹿パーキングエリアのスマートインターチェンジ設置について、どのように捉えているか。

答弁1(3) 東名阪自動車道の鈴鹿インターとの相乗効果により、広域交通の連携や強化が図られることが期待され、観光資源を生かしたシティセールスの増進や地域活性化につながる絶好の機会と考えている。

質問1(4) 白子駅前広場整備事業の進捗状況と課題、エントランス機能についての考えはあるのか。

答弁1(4) 一部建築物を除いて実施設計は完了しており、本年度末における事業進捗率は74.5%を予定している。鈴鹿市のエントランス機能を果たす駅前広場となるよう、関係者との協働により充実に図りたい。



緑風会 宮本 正一 議員

1 鈴鹿市エネルギービジョンについて 2 鈴鹿市制70周年記念事業について

質問1 エネルギー基本方針、電気使用契約状況、Suzuka-EMS進捗状況、太陽光発電等について。

答弁1 エネルギー政策は国が計画実施すべきであり、情勢を注視し対応を検討する。電力契約は本年度より特定規模電気事業者契約を実施し昨年比で年間約26万円の経費削減を見込む。23年度の前年比電力使用量削減実績は4.55%で年間3080万円相当の節約効果があった。市が管理する太陽光発電は5か所で70kW。今後は平田野中学校に20kWを設置予定。現在85の避

難公園にソーラー式照明灯を設置。今後も費用対効果等を考慮し導入を検討する。

質問2 記念事業の効果と第15回鈴鹿シティマラソン事業詳細について。

答弁2 総事業費約3600万円で60周年記念事業とはほぼ同額で計画。8月末時点で32の事業が実施され今後のまちづくりや元気に繋がると考えている。シティマラソンは鈴鹿サーキットを中心に一般道路を走るハーフマラソンや青少年の森を歩くウォーキングなどを追加する。体験型イベントも開催し、シティセールスを意識した大会とする。観光庁をはじめ各種団体に後援等いただき円滑な大会運営に努めるとともに、体育振興会や一般ボランティアにも協力をお願いしたい。本市の活性化にも貢献していると考えており、今後も鈴鹿の特色を活かしていきたい。



あくていぶ21 森 喜代造 議員

1 太陽光発電システムの設置について (1) 本市の取り組みと今後について 2 学校のいじめ対策について (1) いじめの実態把握について (2) 学校の体制づくりについて (3) いじめ防止対策について

質問1(1) 市役所に太陽光発電設備が設置されているが、どの場所で出力はどのくらいであるのか。又、民間への普及促進とメガソーラーの導入はどうか。

答弁1(1) 本庁舎屋上に出力30kW、その他数ヶ所に10kW、建設予定の平田野中学校に20kWを設置予定。今後は、公共施設の屋根貸しや不燃物リサイクルセンターの敷地の一部を活用したメガソーラーの設置に

についての調査検討に取り組み、地球温暖化対策の推進を図っていききたい。

質問2(1) 保護者からいじめの報告があった時の対応と、実態把握はどのようにされているのか。

答弁2(1) 5月アンケート調査で1306件のいじめがあり、全てに対応後15件をいじめと認知した。内容は、からかいや暴力行為が大半で10件は解決済。残り5件は人間関係の修復に向け、継続対応している。

質問2(2) 学校の指導について。

答弁2(2) アンケート調査結果により、個別に相談を実施し、訴えのあった全ての問題解決に取り組む。

質問2(3) 相談員の配置と学校地域の連携について。

答弁2(3) 相談窓口を開設し相談員を配置している。又、学校運営協議会を設置し連携協力を図っている。



あくていぶ21 伊藤 健司 議員

1 財政改革における自主財源の確保 (1) 税外収入金の未収金対策と公金 徴収一元化について伺いたい

質問1(1) 主な税外収入金の収入未済額には、どのようなものがどれくらいあるのか。

答弁1(1) 主なものとしては保育料と市営住宅使用料であり、21年度は1億8108万5055円で、全体の8割以上を占めている。22年度では1億9173万1089円。

質問1(2) 未収金対策として関係部署間での情報共有や組織横断的な取組はなされているのか。

答弁1(2) 主な税外収入金の関係所属には公金の徴収部門の経験者を配置。公金の債権回収業務に関

する研修を実施。企画財務部と保健福祉部が中心となって、課題整理、検証し知識やノウハウの向上に努める。

質問1(3) 公金徴収一元化について、今後どのようにしていくのか。

答弁1(3) 行財政改革のアクションプランに位置づけ、段階的な推進を図りたい。具体的には24年度で徴収業務の一元化等の取組が必要な債権の取扱いの再確認。第1段階として徴収業務に関する課題抽出、問題点整理、ノウハウや情報共有を推進。25年度で債権管理方針を作成し、滞納債権の現状や課題を明らかにし、債権の適正管理等を全庁で共通認識を図り、税等公金徴収一元化に携わる組織設置を検討。26年度で第2段階として一元化した組織を設置し、徴収率向上と財源確保を目指す。



すずか倶楽部 鈴木 純 議員

1 企業誘致の促進について (1) 企業誘致の現況について (2) 誘致体制について (3) トップセールスについて 2 監査体制の強化について (1) 不祥事を防ぐ監査体制について (2) 外部監査の導入について

質問1(1) 鈴鹿市の発展のため、税収増雇用増の確保の観点からも企業誘致は欠かせないが、現況は。

答弁1(1) 企業立地件数として、平成22年度から新たに2件、施設の増設が4件の計6件である。

質問1(2) 現在、公的工業団地の立地スペースもなく、その確保や誘致体制を今後どう強化するのか。

答弁1(2) 最適な用地確保は課題と認識している。

質問1(3) 市長の企業トップセールスの取組みは。

答弁1(3) 非常に重要な施策であり、トップセールスを駆使し積極的、タイムリーに企業誘致を進める。

質問2(1) 4年前の不祥事の教訓から、監査体制をどう見直してきたか。工事監査では重大な所見が記載されており、措置状況の公表など監査強化すべき。

答弁2(1) 生活保護費の随時監査を実施した。監査強化には職員の増員・組織の充実の必要がある。工事監査は、対応状況の報告を求めることを検討する。

質問2(2) 大きな不祥事も発生しており、外部の専門的な知識を有する人による外部監査を実施すべき。

答弁2(2) 議員、監査委員の意見、他市の状況、本市の事務処理の実態等を踏まえて必要性を見極める。



あくていぶ21 宮木 健 議員

1 学校の生活指導について 今全国的に問題になっているいじめを 含む問題行動について本市の状況を聞く 2 遺族会・忠魂碑について

質問1(1) 生活指導の本市の実情と問題行動を取り巻く環境はどのように把握しているのか。

答弁1(1) 全国的に増加傾向にある児童生徒の暴力行為は本市においても発生比率が増加に転じ憂慮すべき状況にある。またその要因として、自分自身の感情をコントロールできないコミュニケーション力の低下などがあげられ、保護者においても家族が果たすべき養育力や子供にむかい合う事への不安を多くかかえている。

質問1(2) 地域で子育てを形成できないのか。

答弁1(2) スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの拡充を県にも要望している。又、本市では臨床心理士も配置し、親子の不安を取り除くよう努めている。

質問2 戦後67年、市制70年を迎える今日、歴史教育を平和教育として継承できないのか。

答弁2 あった事実をありのまま伝え二度と悲惨な歴史を繰り返さないためにも平和教育に積極的に取り組んで、鈴鹿市の歴史を副読本として取り入れていく。



公明党 藤浪 清司 議員

- 1 公用車のカーリースについて
- 2 ごみのふれあい収集について
- 3 地籍調査について
- 4 BCP(事業継続計画)について

質問1 昨年12月の一般質問で、経費節減と管理事務量が軽減できる公用車のカーリース化を提言したが、検討した結果と取組みについて尋ねる。

答弁1 見積りを徴収したところ、購入と比較してリースの方が若干有利であった。平成25年度に、試行的に数台リース車の導入を検討している。

質問2 ごみ出しが困難な要介護の高齢者や障がい者の単身世帯を対象に、玄関先からごみを収集すると

ともに声かけを行うふれあい収集を実施してはどうか。

答弁2 本市としてもその必要性を認識しており、今後関係部局と協議して検討したい。

質問3 鈴鹿市の地籍調査の進捗状況と、今後の取組みについて尋ねる。

答弁3 平成23年度末の進捗率は、14.85%。今後は、民間活力の導入について検討し、沿岸部の市街化区域を中心に進捗していくよう努力する。

質問4 緊急時に必要な業務・事業を継続して行うための計画(BCP)について、鈴鹿市の策定状況と民間企業への啓発・推進について尋ねる。

答弁4 平成25年度中には、全庁的な業務継続計画を策定する予定。市内企業に対しては、BCP普及に向けた啓発や積極的な情報発信を進めていく。



すずか倶楽部 中西 大輔 議員

- 1 子ども図書館設立について
- 2 地域維持型JVについて

質問1(1) 江島カルチャーセンターを子ども図書館と子育て支援の拠点にしてはどうか。

答弁1(1) 文化課と図書館で、江島カルチャーセンターの図書館分室化に前向きに取り組みたい。サービス方針策定の中で検討していく。

質問1(2) 空調設備の修理はどうするか。

答弁1(2) 修理しながら対応して考えたい。

質問1(3) 事務所と図書室を隔てる壁を撤去し、広い空間としてはどうか。

答弁1(3) 利用者や関係者のご意見をお伺いして考

える。

質問1(4) 図書館ビジョンへの取り組みは。

答弁1(4) 当面は、図書館を改修、修繕して、維持管理をすることが、図書館サービス提供の方向と考えている。

質問2(1) 国交省から通達された地域維持型JVについて、現在の鈴鹿市の取り組みと情報収集の状況は。

答弁2(1) 現時点では取り組みはまだである。

質問2(2) 国や県に対して、鈴鹿市として提案し、共同で実践研究できるのではないかと。市の見解は。

答弁2(2) 契約における公平性、公正性、競争性、透明性の確保も十分に考慮しながら、地域維持型JVについて庁内連携で検討したい。



日本共産党 石田 秀三 議員

- 1 市長等の給与と退職金について
- 2 リニア中央新幹線計画について

質問1 市長など特別職の退職手当は、1期4年ごとに支払われ、市民感覚からかけ離れた特権的なものである。三重県知事のように、これを返上または減額する考えはないか。昨年支払われた前市長、前副市長の退職金はいくらか。

答弁1 今後、退職手当の見直しが必要と判断したときには、皆様方のご意見を聞きながら検討していきたい。前市長の退職金は約1904万円、前副市長は約1028万円であった。

質問2 昨年5月、国土交通大臣がJR東海に中央新幹線の建設指示を出し、JR東海は東京名古屋間を2027年、東京大阪間を2045年開業、建設資金9兆円以上との計画で動き出した。鈴鹿市も通るルートが予定されている。しかし、リニア新幹線には多くの問題がある。路線の80%がトンネル、その大部分が地下40メートルの大深度、使用電力は新幹線の3倍、運転手の乗らない遠隔操縦、強力な電磁波の人体への影響など安全面の不安も大きい。1時間半ほどの時間短縮のために、巨額の資金を投じる必要性についてのまともな説明もない。リニアを推進する三重県期成同盟会に鈴鹿市も入っているが、見直すべきである。

答弁2 リニア新幹線は、地域にとって重要なプロジェクトであり、引き続き同盟会に参画したい。

日本共産党 森川 ヤスエ 議員



- 1 中学校給食の運営は小学校と同じ市直営で行うことを求める
- 2 入札の改善について
(1) 市内業者育成のためにも受注比率を高める工夫を

質問1 新たに始まる中学校給食は民間委託も視野に入れているとのことだが、教育の一環で行うものであり、営利を求めない直営で行うことを求める。他市と比べて直営の鈴鹿市の給食は安い。いなべ市藤原給食センター（魚国）230円、津市270円。調理業務は学校給食の質を大きく左右する。食材も献立も調理がしっかりしなければ本来の良さは出せない。調理員は高い専門性と豊かな経験と熟練が必要である。栄養士と調理員のチー

ムワーク・コミュニケーションが不可欠である。職安法施行規則等4条の請負・委託の4要件に違反や偽装請負など違法の恐れがある。無理に法の網をくぐって行う理由はない。

答弁1 中学校の給食センターは民間委託を念頭に検討しているが、献立の作成や食材の選定と購入、衛生管理は市が責任を持って行いたいと考えている。

質問2 入札の実態はまだ改善が必要と考える。市内の受注率は高額な工事案件のあるとき建設部門契約金額ベースを見ると10%～20%。コンサルタント業務金額ベースは35%。市内業者の入札参加の機会を広げる工夫を求める。

答弁2 市内発注を基本とし、共同企業体の活用や発注方法の工夫で市内業者の受注拡大に努めたい。

市民クラブ 中村 浩 議員



- 1 コンビニでの諸証明の発行についてのパート2
- 2 Cバスについてのパート15

質問1 コンビニ交付システムの概要、全国での導入状況、メリット、導入経費は。

答弁1 全国で56の自治体で実施しているが、三重県内で実施している自治体はない。現在は1社のコンビニで発行可能だが、来年度からは新たに2社が参入予定である。証明書の発行には住民基本台帳カードが必要だが、カードがあれば全国どこでも、平日に限らず休日や夜間でも証明書を受け取ることができる。経費は約2900万円を見込んでいる。今後はコンビニ交付の準備を進め

たい。

質問2 Cバスに8000万円の税金を投入して運行しているが、この原点と理由はなにか。また、住居表示区域に都市計画税を課税したら市東部と北部にもCバスを運行できるのではないか。

答弁2 本市の西部地域と南部地域は公共交通空白地域であり、地域住民の必要最低限の移動手段を確保するためにCバスを運行している。都市計画税の課税については、都市計画税は市街化区域内の都市計画事業等の財源とするために、原則、市街化区域内の土地と家屋に課税するものである。一方、住居表示は町をわかりやすくしたり、郵便物を配達しやすくすることを目的としていることから、市街化調整区域内の住居表示区域には、都市計画税を課税できないと考えている。

開政クラブ 森田 英治 議員



- 1 生活排水処理について
- 2 学校給食センターについて

質問1(1) 生活排水処理については、生活排水処理基本計画で、経済的要因や整備の迅速性の検討が記載されている。公共下水道の整備済面積と今後の予定、これまで下水道整備にかかった費用と今後は。

答弁1(1) 整備計画区域は4525haで、そのうち整備済区域は1824ha、未整備区域は2701ha。平成24年度の整備予定は約49.8ha。約50haで毎年整備を進めるとすべて整備するのに約50年かかるが、平成50年頃をめどに計画区域すべてを整備したい。これまでの建設コストは約850億円（1人当たり119万円）、これからの建設コスト

は約820億円と見込んでおり、完成時の建設コストは1670億円（1人当たり137万円）。

質問1(2) 合併処理浄化槽の整備コストは下水道に比べ1/3以下と、経済性からも有利と考えるが、市が整備する市町村設置型合併浄化槽の検討は。

答弁1(2) 三重県において、平成24年度より浄化槽の補助制度の見直しをした。本市でも市町村設置型を含めた新しい補助制度の検討を行っている。

質問2 学校給食センターを落札した施設設計業者と選定理由、市内業者が参加しやすい工夫は。

答弁2 プロポーザル方式により提案内容を審議し、パシフィックコンサツタンツ(株)三重事務所に決定した。工事業者の発注については、競争性も考慮しながらできるかぎり市内業者に発注していきたい。

政友会 大杉 吉包 議員



- 1 本市の農業施策について
 - (1) 農業の現状
 - (2) 既存農家の育成
 - (3) 新規就農者の受入れ
 - (4) 水田農業の現状と将来について
 - (5) 畑作農業の現状と将来について

質問1(1) 農業の現状。

答弁1(1) 農業所得の激減、農業従事者の減少、高齢化などの厳しい状況にある。

質問1(2) 既存農家の育成。

答弁1(2) 農業者にとって魅力があり誇りの持てる、儲かる農業が行えるような様々な角度から進める。

質問1(3) 新規就農者の受入れ。

答弁1(3) 新規就農者に対し給付金制度があり、準備型は2年間で年150万円。経営開始型は5年間で年150万円市を通じて支給して支援する。

質問1(4) 水田農業の現状と将来について。

答弁1(4) 平成22年度より実施された戸別所得補償制度に市内で1004名の方が制度に参加されたのをはじめ、市の単独助成をもうけて規模拡大をはかり、良質米生産を指導する。

質問1(5) 畑作農業の現状と将来について。

答弁1(5) 厳しい状況での花木、お茶の支援、また野菜についても減農薬、有機栽培など付加価値の高い野菜栽培を推進し、直売所施設活用による地産地消を推進する。

リベラル鈴鹿 市川 哲夫 議員



- 1 健康な身体づくりについて
- 2 小動物の作物対策について

質問1(1) 健康な身体づくりへの取り組み状況は。

答弁1(1) 平成23年3月に策定をした「鈴鹿市健康づくり計画」では、生活習慣をキーワードとして捉え、疾病の発生を未然に防ぐ一次予防と疾病の早期発見、早期治療を行う二次予防など様々な事業に取り組んでいる。

質問1(2) 身体づくりに対する褒賞制度について。

答弁1(2) 国民健康保険事業に関する褒賞制度として平成16年度まで健康世帯表彰を実施していたが、表彰の効果等の検討を重ねた結果、予防に重点を置いた

検診事業に特化する形で平成17年度以降表彰を廃止した経緯があり、今後は特定検診の受診、保健指導の利用により市民の健康への意識を高め、健康で暮らせるまちづくりに努めたい。

質問2 これまでの対策と今後の対応について。

答弁2 獣害対策の基本を集落ぐるみで実施する獣害につよい地域づくりと考えており、地域で実施する取り組みを支援するため、被害地区での獣害対策の講習会や研修会の開催、追い払い用花火や動物駆逐用煙火の配付等により、集落での追い払い活動支援を行っている。獣害対策は、本市の農業振興、地域振興において重要な課題の一つと考えており、関係機関と連携を図り、地域の方々とともに取り組みを進めていきたい。

開政クラブ 板倉 操 議員



- 1 新給食センターの運営について
 - (1) 民間委託の枠を拡大することの理由や経過について
- 2 市民の移動手段の確保について
 - (1) 近鉄内部・八王子線の存続問題

質問1(1) 中学校給食用の新給食センターの運営を、調理業務も含め民間委託することは民間枠の拡大だが、小学校のセンターの運営で不都合があったのか。児童のアレルギー対応の除去食も増え、食育基本法の実践、地産地消の推進による生産者との連携等、学校給食業務を進めていく課題は増加している。栄養士・栄養教諭、調理師・調理員等の専門性の確保は、行政の役割を明確にすると共に給食への考え方や技

術の伝承する上で重要だと考える。合理化や経費削減をすれば良いと言うものではなく、ありきではなく十分な検討が必要であると思うがどうか。

答弁1(1) 昭和60年に国からの通達で合理化の必要性が指摘されている。献立作成、安全な食材確保は市側がするので支障はないと考えている。

質問2(1) 近鉄内部・八王子線について、近鉄は赤字なので存続ならば全額公費負担を言い、四日市市は強く反発している。「沿線には5つの高校などがあり鈴鹿市民としても見過ごせない。」と鈴鹿市自治会連合会も近鉄に要望書を提出した。公共交通を守るとの観点から鈴鹿市の考え方はどうか。

答弁2(1) 事態の推移や状況の把握に務めながら、注視していきたい。



すずか倶楽部 原田 勝二 議員

1 安全で安心なまちづくり 2 いじめ問題

質問1(1) 津波浸水予想地域における、避難ビルの空白地域対策。

答弁1(1) 若松8棟、箕田8棟、長太11棟の、合計27棟の空白地域避難ビル化を推進していく。

質問1(2) 緊急避難所・収容避難所のトイレ対策。

答弁1(2) 今後とも、非常用トイレ、マンホールトイレの整備に努める。

質問1(3) 南海トラフと地震被害予想(8月29日政府発表)への対応。

答弁1(3) 「鈴鹿市地域防災計画」を再検討し、新た

に「津波対策編」を編成する。

質問1(4) 三重県建設産業活性化プラン(地域の安全・安心の確保)と連携した鈴鹿市の施策。

答弁1(4) 三重県建設産業活性化プランを参考に鈴鹿市建設産業界の育成と活性化に努める。

質問2(1) 鈴鹿市教育委員会の取り組み。

答弁2(1) 「鈴鹿市教育振興基本計画」があり、「いじめ問題に関する条例制定」は考えていない。

質問2(2) 武道教育(心・技・体)。

答弁2(2) 武道は日本の伝統文化であり、相手を尊重する態度を養うなど人間形成の醸成に努める。

質問2(3) 「仰げば尊し」(師の恩・志)。

答弁2(3) 「仰げば尊し」は小・中では歌われず、卒業式歌の選定は各学校にまかせている。



すずか倶楽部 後藤 光雄 議員

1 ラジオ体操について 2 コミセンの利用料について 3 空き家対策について

質問1(1) 小学生の夏休みの実施状況は、又8月4日の巡回ラジオ体操への小学生の参加状況は。

答弁1(1) 全小学校区において283ヶ所で実施。1週間程度が130、2週間程度が141、お盆以外実施が12ヶ所。8月4日の参加は1000人程。

質問1(2) 健康づくりの為に適しているラジオ体操を身体で覚えるよう学校で取り組むべきだというのが教育委員会の考え方は。

答弁1(2) 夏休みのラジオ体操は地域で子どもを育てていただく貴重な機会であり、地域ぐるみで普及促進が

図られるよう社会体育で進める必要がある。

質問2 コミセンの利用が他施設と違い無料であることを見直す予定はあるか。

答弁2 市全体の行政サービスに対する適正な受益者負担の在り方について見直す行財政改革アクションプランの中で取り組んでいく。

質問3(1) 1戸建空き家が鈴鹿市にどの位あるか。

答弁3(1) アパート、長屋、賃貸、販売用の住宅等を含んだ空き家は、住宅総数7万7320戸に対して7020戸9.1%(20年度)となっている。

質問3(2) 良質の空き家を地域の中で活かせる施策は考えられないか。

答弁3(2) 空き家バンクと称する情報提供を行う体制づくりの先進事例の把握に努めていきたい。



市民クラブ 太田 龍三 議員

1 文化振興の強化について

質問1(1) 文化振興部の予算の推移、子ども達への今後の事業展開について。

答弁1(1) 平成20年度から平成21年度にかけ、若松公民館や稲生公民館の建て替え工事があり、平成20年度は13億3,899万7千円だが、平成23年度は6億6,235万8千円で、平成24年度は7億4,001万3千円である。事業展開においては、文化・芸術を知り体験できるよう、小中学校へプロの演奏家が出向き演奏を体験した後、文化会館で本格的コンサートを鑑賞する取り組みなど。

質問1(2) 図書館の利用の多い年代層、利用者を増

やす努力について。

答弁1(2) 平成23年度年齢別貸出人数は、30歳代の方が18.9%、40歳代の方が16.6%、60歳代の方が16.2%である。幅広い年齢層に利用者がわたることから、それぞれの年齢層にあった図書資料の質及び量・サービスの充実、地域サービス事業の拡充、広報紙を使った啓発に努める。

質問1(3) 文化振興基金の目的及び今後の活用について。

答弁1(3) 目的は文化活動の推進、文化教室等の充実、鑑賞機会等及び文化情報の提供と充実、文化活動の顕彰、文化的資産の保存と継承、文化的環境の整備である。活用については、現在作成中の文化振興ビジョンの実現に向けての事業の財源にできればと考える。



市民クラブ 大西 克美 議員

1 迷惑行為の防止対策について

質問1(1) ごみ・空き缶等のポイ捨て対策は。

答弁1(1) 鈴鹿市不法投棄連絡協議会を設置して共同でパトロール行い、苦情件数は年々減少している。

質問1(2) 空き家の安全管理はどうなっているのか。

答弁1(2) 市内の空き家率は9.1%である。空き家の所有者に修理や解体等の適切な対応を求めている。

質問1(3) 空き家の雑草管理はどうなっているのか。

答弁1(3) 所有者に草刈りを早急に行うよう指導している。平成24年度は8月31日現在で環境政策課から132件の指導を行った。

質問1(4) 深夜における花火の騒音対策は。

答弁1(4) 市が管理する公園では火気の使用は原則禁止しており、看板や市ホームページで周知を図っている。また、夜間パトロールも実施している。

質問1(5) 歩行喫煙を防止するための施策は。

答弁1(5) 歩行喫煙に限らず、喫煙は喫煙者、非喫煙者双方の健康に影響があることを啓発している。

質問1(6) 犬のふん害に対する取り組みは。

答弁1(6) 飼い主のモラル向上が重要と考え、定期的に広報すずかやホームページで啓発を行っている。また、犬のふん害防止看板を作成し、自治会単位で配布している。



啓発看板

議会情報の共有を推進します！

鈴鹿市議会では、より市民に開かれた身近な議会となることを目指し、市民の皆様との情報共有を推進しています。

テレビ中継を全日程で実施します。

今まで本会議のテレビ中継は代表質問と一般質問のみで実施していましたが、12月定例会からは開会日、質疑、閉会日を含めた全日程で実施します。放送時間は午前10時(開会時間)から会議の終了までで、CNSテレビのデジタル122chで生放送します。

また、市議会のホームページではテレビ中継した映像の録画配信を実施していますが、こちらの映像についても、本会議の全日程を配信します。

なお、映像配信の時期は、定例会閉会日からおおむね2週間後に配信する予定となりますのでご了承ください。

会議を原則公開します。

これまでは、本会議と議会運営委員会・常任委員会・特別委員会のみを公開していました。しかし12月1日から施行される鈴鹿市議会基本条例の第5条に「すべての会議を原則公開とする」と規定されたことに伴い、これまで非公開となっていた「各派代表者会議」を12月から公開することになり、傍聴が可能となります。

また、鈴鹿市議会基本条例の第18条に「市民との情報共有を図るとともに、市民の意見を把握するため、その効果的な手法を協議する広報広聴会議を設置する」と規定されたことに伴い、12月から広報広聴会議を設置します。この広報広聴会議についても公開しますので、傍聴することが可能です。

常任委員会活動状況

総務・文教環境・生活福祉・産業建設の4つの常任委員会では、閉会中の継続調査事項に関して行政視察及び市内現地調査を実施しました。

総務委員会

7月23日(月)から25日(水)にかけて行政視察を実施した。

7月23日は神奈川県川崎市の「公契約条例について」を視察。

公契約条例とは、地方公共団体と民間企業が契約を締結する際に、働く労働者の最低賃金額を入札・契約の条件として定めることを規定した条例である。鈴鹿市ではまだ制定していないため、すでに制定している川崎市を視察し、担当者から説明を受けた。

7月24日は神奈川県相模原市の「公契約条例について」と「シティセールスについて」を視察。相模原市ではシティセールスを積極的に推進するため、シティセールスを推進する担当部署を設置しており、その取り組み状況について担当者から説明を受けた。

7月25日は東京都府中市の「公共施設マネジメントの取組について」を視察。公共施設マネジメントとは、公共施設の現状を調査し、今後の公共施設のあり方等の全体方針を検討するといった考え方である。公共施設マネジメント白書を作成するなど、先進市である府中市を視察し、担当者から説明を受けた。



文教環境委員会

7月30日(月)から8月1日(水)にかけて行政視察を実施した。

7月30日は京都府綾部市の「市町村合併処理浄化槽の設置について」を視察。水洗化総合計画の見直しにより個人設置型の補助金事業に着手し、集合処理計画区域以外の地域や、計画区域であっても当分整備が見込めない地域に、浄化槽による水洗化を推進していることについて、担当者より説明を受けた。

7月31日は大阪府大阪市の「放課後ステップアップ事業について」と「学校元気アップ地域本部事業について」を視察。平成21年度より、小学校にて放課後の時間帯を利用し学習の場を提供する支援事業を行っている。中学校では、学校・家庭・地域が組織的に連携するしくみをつくり、より効果的な学力向上や地域コミュニティづくりを進めていることについて、担当者より説明を受けた。

8月1日は兵庫県淡路市の「メガワット級ソーラー集積事業あわじメガソーラー1」について視察。地球温暖化の抑制のために環境省の基金を活用し、県との合同事業でメガソーラーを建設した取り組みについて、担当者より説明を受けた。



生活福祉委員会

7月25日(水)から27日(金)にかけて行政視察を実施した。

7月25日は岡山県倉敷市の「介護支援いきいきポイント制度」についてを視察。この制度は介護保険施設などでボランティア活動を行ったお年寄りにポイントを付与し、後に換金できるシステムであり、高齢者の生きがいを創出し、健康増進や社会参加につなげる狙いがあるとされ、取り組み状況について担当者より説明を受けた。

7月26日は広島県三原市の「放課後児童クラブ」についてを視察。担当者より放課後児童クラブの申し込みの現況をはじめ、指導員の確保方法、問題点、利用者からの反応、要望、今後の方向性等の説明を受けた。

7月27日は大阪府寝屋川市の「元気アップ介護予防ポイント事業」と「休日窓口の取組」についてを視察。「元気アップ介護予防ポイント事業」については、導入経過や検討した事項、制度概要、現状と課題、今後の展開の予定等について、また「休日窓口の取組」については、日曜窓口の実施状況をはじめ、市役所サービス処ねやがわ屋の利用状況等について担当者より説明を受けた。



産業建設委員会

8月8日(水)鈴鹿商工会議所において、「産業の活性化について」及び「鈴鹿スマートインターチェンジと周辺環境整備について」をテーマとして、鈴鹿商工会議所との懇談会を実施した。



鈴鹿市議会のホームページをご覧ください。

鈴鹿市議会のホームページでは、議会についての紹介、議員の名簿、会議日程のご案内、請願と陳情の提出方法、会議録の検索システム、一般質問等の議会テレビ中継の録画配信、各会派の政務調査費の決算状況等をお知らせしています。また、最新情報については、随時トピックスでお知らせしています。ぜひご覧ください。

市議会ホームページアドレス <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>

市民のみなさんのご意見をお寄せください！

市議会だよりに対するあなたのご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。お寄せいただいたご意見は、今後の市議会だよりの発行の参考にさせていただきます。

〒513-8701

鈴鹿市神戸一丁目18番18号鈴鹿市議会事務局

TEL 059-382-7600 FAX 059-382-4876

メール giji@city.suzuka.lg.jp

会議録のお知らせ

本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、全員協議会の詳しい内容については、会議録が閲覧できますのでご覧ください。閲覧は市役所本庁舎14階の議会図書室と本庁舎4階の市政情報コーナーで可能です。なお、本会議の会議録は上記の議会図書室と市政情報コーナー以外に、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。9月定例会の会議録は、11月下旬に市立図書館や各地区市民センターなどに配布予定です。また、鈴鹿市議会ホームページに、会議録検索システムを掲載しています。平成9年度以降の本会議と平成22年度以降の常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、全員協議会の会議録が検索できますのでご覧ください。

傍聴のご案内

本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び全員協議会は傍聴できます。さらに12月からは各派代表者会議と広報広聴会議も傍聴できるようになります。日程は市役所連絡通路・14階エレベーターホール・15階エレベーターホールに掲示してあるポスターと、市議会のホームページに掲載します。傍聴には傍聴券が必要となります。傍聴券は14階の議会事務局で交付します。本会議の傍聴定員は53名(車いす席4名含む)で先着順となります。常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、全員協議会、各派代表者会議、広報広聴会議の傍聴定員は10名で、開会30分前から受付を開始し、同10分前に締め切ります。受付締め切り時点で傍聴希望者が定員を超えた場合は抽選となります。日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。

電話 059-382-7600



◀ 議場傍聴席



委員会室傍聴席 ▶

議会史を販売しています。



平成16年までの鈴鹿市議会のあゆみがわかる書籍です。資料編・記述編を販売しております。ご入用の方は議会事務局までご連絡ください。